



学校だより

平成27年 6月11日 No. 7

こたき

教育目標

- か 考える子ども
- が がんばる子ども
- や やさしい子ども
- け 元気な子ども

☎ 92-4013
FAX 92-4019

いわき市立小名浜西小学校長 高木清美

大規模災害が起きたら…



口永良部島の爆発的噴火に見るように活動が活発化している火山・頻発する震度5クラスの地震など、自然災害への懸念が高まっています。4年前の東日本津波原発事故大震災で、自然の前では人間は無力であることを思い知らされました。一方で、自然の力は止めることはできないが、被害は人の手で小さくすることができることも学びました。減災の考え方です。大規模な災害の発生を想定した備えが大事であることを学びました。

さて、それでは、今再びあのような大地震が起きたとしたら、前回の教訓を生かしてより安全に対処できるでしょうか。学校では児童の人命を第一に、避難訓練や日頃の指導の中で、地震や火災発生時の身の守り方を教えています。保護者の皆様には、4月14日付のプリントでお知らせしたところですが、再度お知らせします。

大規模災害が起きたら

○児童が学校にいる場合

児童は、学校で預かり保護します。

- ・保護者（又は保護者の依頼を受けた人）が迎えに来てください。
- ・それまでは、教職員で看護しています。

※ 「家が近いから」「母親が友だちだから」等の理由でも保護者の依頼がなければ、引き渡しはできません。

※ 児童が自宅と学校の間にいる場合（登下校途中など）については、家庭で次の例のように約束をしておいてください。

- A 自宅に近く、かつ保護者の在宅が確実な場合――自宅に帰る。
- B 自宅に近いが、保護者が留守の場合――学校へ避難する。
- C 学校に近い場合（保護者の在宅に関係なく）――学校へ避難する。 など

◆学校以外へ避難した場合は、安否を学校へ連絡願います。

※ 西小は市の避難所となります。支援物資の備蓄もあり安全が確保されます。家族みんなで西小へ避難するように約束しておくとうよいと思います。



エリムで体験学習

5年総合学習



歯みがきでむし歯予防

5年生は、総合的な学習の時間でいわき体験型経済教育施設（エリム）で体験学習をしてきました。

子どもたちは、実際に売り手、買い手となり企業の運営、街の運営まで全てを体験してきました。各ブースごとにボランティア社員が派遣されており、作業や業務の流れについてのサポートを受けながら、運営に関わる全てを子どもたちにが担いました。よりよい運営をする為の対策・判断・問題解決方法なども子どもたち同士で話し合い実行する事で、いろいろな学びができました。

この体験学習のねらいは、社会は仕事を通じて助けあって生きている場所であり「人と地域社会の関わり」について学ぶことです。活動の中で見られる子どもたちのあいさつや言葉遣いにたくさんの成長が見られました。



6月4日は、むし歯予防デーでした。それを機会に正しい歯みがきを身に付けさせたいと、養護教諭が各学級をまわり歯みがき指導をしています。

9日は3年生が指導を受けました。配られた薬剤を口に含むと口の中が真っ赤に。この薬剤、磨き残しがあるとその部分が赤く染まるもの。歯と歯の間、歯ぐきとの境目、奥歯のかみ合わせなど赤くなったところを探し、自分のブラッシングの弱点を見つけました。子どもたちは、学んだ方法で一生懸命汚れを落としていました。

歯を大切にする気持ちが育つといいなと願っています。

